

座学と実習で橋梁点検

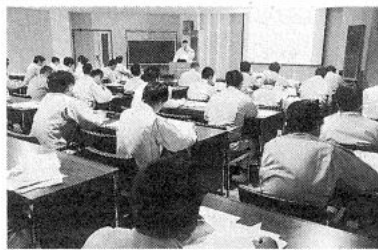
福井県コンクリート診断士会

60人参加

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）

は25日、鯖江市桜町の郷陽会館で橋梁点検研修会を実施し、約60人が参加した。写真上。

座学では「福井県橋梁定期点検マニュアル」について、定期点検の対象となる橋梁の定義、健全性の診断や、同診断区分



に応じた措置、定期点検の体系的見直しについて講師が説明を行った。

続いて「橋梁点検時の着目点について」のテーマで、水の浸入経路や構造形式、断面形状、PC鋼材定着部などに着目した点検の大切さを学習

その後、場所を替え、越前市の日野川にかかる



万代橋で、橋梁点検車のデモと概要の説明を実施。さらに、近くの豊橋に移動して、実際に橋梁点検の実習と点検結果の解説を行った。写真下。

講師からの注目すべき点や気を付けるべき点の指導に対して、参加者は真剣に聴き入り、実際に自分の目で点検箇所を注意深く確認していた。